



平成27年3月2日
国土政策局国土情報課

「平成26年度G空間社会実証プロジェクト事業」の成果報告会について

国土政策局では、平成26年度G空間社会実証プロジェクト事業を公募の上3件選定し、推進しています。今年度の成果を報告し他地域への展開等に役立てるとともに、今後の取組等について参加者と情報交換する場を設けます。

どなたでもご参加いただけますので、ふるってご参加ください。

(1) 事業の概要

本事業は、G空間社会（※参照）の具体的なイメージ、成功モデルを示していくため、地域活性化や防災・減災対策に地理空間情報（G空間情報 ※参照）を効果的に活用したプロジェクトを公募の上、実証事業として行うものです。今年度は別紙のプロジェクトを推進しています。

(2) 成果報告会の概要

【目的】今年度成果の共有ならびに今後の取組等についての情報交換

【日時】平成27年3月23日（月）16:00～18:30（予定）

【場所】国土交通省3号館10階共用会議室A

【プログラム】3事業からの成果報告＋有識者委員（別紙）ならびに会場から質疑・情報交換等

【参加費】無料

(3) 参加方法

3月18日（水）17:00までに電子メール（g9-project@mlit.go.jp）にて、氏名、所属、参加人数（複数人の場合）をお知らせください（件名は「G空間社会実証プロジェクト成果報告会」）。

（※）位置や時間に関連する情報を「地理空間情報（G空間情報）」と呼びます。G空間情報はまちづくりや防災等への幅広い利活用が見込まれています。また、G空間情報を高度に活用する社会を「G空間社会」と呼びます。

〔問い合わせ先〕

国土交通省国土政策局国土情報課 妹尾、宮元

代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8353

（内線29846）

FAX 03-5253-1569

平成 26 年度 G 空間社会実証プロジェクト事業の概要

1. プロジェクトの概要

	協議会等の 名称	代表団体名	事業名	概要
1	移動者向け 災害情報提 供協議会	みずほ情報 総研 株式会社	移動者向け災害情報提 供プロジェクト	災害時に自動車で移動中の方へ現在地に 応じて、避難等に有用な情報（避難勧告、避難 所情報、道路等の状況のカーナビカメラ画 像、市民からの投稿画像等）を提供する仕組 みづくりを実証。
2	長野県山岳 G 空間プロ ジェクト協 議会	株式会社 豆蔵	G 空間社会における山 岳遭難防止対策モデル 構築事業	ビーコンを活用して登山客の行動履歴を蓄 積し、遭難の際の迅速な搜索活動に活かしたり、準天頂衛星による高精度測位をもとに危 険地帯に近づいた人にアラートを出したり する取組を実証。
3	G 空間交通 マネジメン ト協議会	国立大学法 人 名古屋大学	2020 年東京五輪に向け た G 空間シェアリング モビリティによる都心 活性化プロジェクト	東京五輪での活用を見据えて、シェアサイク ル・レンタサイクルにおいて、高精度な測位 と地図を活用したナビゲーションを実証。勾 配の少ない道優先のナビや自転車専用レー ンの案内などを骨伝導イヤホンを活用して 実施。

2. 有識者委員会の委員

○岡部 おかべ あつゆき 篤行 青山学院大学総合文化政策学部 教授

○神武 こうたけ なおひこ 直彦 慶応義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科 准教授

○柴崎 しばさき りょうすけ 亮介 東京大学空間情報科学研究センター 教授

○続橋 つづきばし さとし 聡 一般社団法人日本経済団体連合会 産業技術本部長

○吉田 よしだ とみはる 富治 一般財団法人衛星測位利用推進センター 顧問